

しもにたしんりん

第9号



遊具設置（東京都）



主 な 内 容

- 第四十二回通常総会開催
- 理事会開催報告
- 台風9号による大きな被害
- 森林整備地域活動支援交付金制度
- ホームページ部門 奨励賞受賞



神戸代表理事組合長あいさつ



祝辞の織田沢俊幸県議



第四十二回 通常総会開催

下仁田町文化ホール



祝辞の岡田常夫町長



祝辞の富岡環境森林事務所 沖野公俊所長

下仁田町森林組合では四月二十五日（水）第四十二回通常総会を下仁田町文化ホールにおいて午後一時三十分より開催されました。組合員数一、四六九名のうち一、一五七名（本人出席二六九名 書面出席八八八名）並びに来賓多数の出席をいただきました。



総会風景

赤岡正敏副組合長の開会の辞に始まり、代表理事組合長 神戸金貴より「鬼石に大型の木材コンビナートが昨年完成しフル稼働を始めたことにより原木の需要が必要となりました。しかし、長期に亘り原木の価格が低迷し続けていたこと、作業道対策に手が着いていなかった為と思われませんが、原木の不足が大変深刻になりました。その結果夏から秋にかけて価格が値上がりし今までは全国で一番安かった群馬県の原木市場が一時期ではありましたが、一番高い市場になりました。こうした木材環境のしたで、下仁田町森林組合は作業道の開設とリンクさせた「下仁田方式」の展開で当初の計画を上回る一万立方メートルの原木を石刈貯木センターから安定的な供給をし、市場として責任を果たすことが出来ました。又、地球温暖化防止対策の京都議定書の完全実施という国家的緊急性から、森林整備関連の予算が本年度から暫らくは増額され今後の数年間は組合活動には「追い風」の状況になって来ました。」と挨拶がありました。

この後、群馬県議会議員の織田沢俊幸様、下仁田町長 岡田常夫様、富岡環境森林事務所長 沖野公俊様から来賓祝辞を頂きました。

続いて西牧地区の神戸好治氏を議長

表彰者
大河原正美氏



に選出し、第一号議案平成十八年度事業報告、貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分案、第二号議案平成十九年度事業計画設定から第十一号議案では定款及び規約並びに役員選任規程、林地処分事業実施規程一部改正の件等を島崎総務課長が朗読説明し全議案が可決承認されました。

また、総会に先立ちまして、定年退職した大河原正美氏、岩崎カネ氏、金井孝允氏が長年、林業振興及び組合運営に尽力されましたので組合長より感謝状が贈られました。

総会は午後三時三十分には赤岡副組合長の閉会の辞で通常総会を終了致しました。



表彰者3名

理事会開催報告

平成十九年四月九日（月）

出席理事十四名 出席監事三名

第一号議案 第四十二回通常総会開催日時及び場所決定について

第二号議案 第四十二回通常総会提出議案審議について

第三号議案 森林組合加入脱退について

第四号議案 林業経営作業道新規開設予定地推進について

第五号議案 従業員就業規則変更について

第六号議案 その他

平成十九年五月二十五日（金）

出席理事十五名 出席監事三名

第一号議案 平成十九年度役員報酬各人毎支給額決定について

第二号議案 平成十九年度組合員加入金について

第三号議案 平成十九年度手数料・建設機械車両使用料・受託林産事業機械使用料について

第四号議案 平成十九年度間伐等森林整備促進対策事業（高性能林業機械購入）について

第五号議案 平成十九年度杉の木安定供給総合対策事業（GPS購入）について

第六号議案 平成十九年度公共造林補助金事業実施計画について

第七号議案 監査細則改正について
第八号議案 その他

平成十九年七月十三日（金）

出席理事十一名 出席監事三名

—— 森林組合所有林上野入日向他を現地視察後 理事会に入る ——

第一号議案 環境と暮らしを支える森林・林業・山村再生運動進捗報告について

第二号議案 固定資産（運材車）処分について

第三号議案 職員・従業員 賞与支給について

第四号議案 その他

平成十九年十二月十四日（金）

出席理事十二名 出席監事三名

第一号議案 森林組合上半期監査報告について

第二号議案 平成十九年度及び平成二十年度事業進捗報告について

第三号議案 職員・従業員年末手当支給について

第四号議案 その他



理事会現地研修

監査会及び監事会

平成十九年四月九日（月） 出席監事三名

第一号議案 平成十八年度業務及び会計監査

第二号議案 その他

平成十九年五月二十五日（月） 出席監事三名

第一号議案 下仁田町森林組合監査細則改定承認について

第二号議案

その他

平成十九年十月三十日（火） 出席監事三名

第一号議案 平成十九年度上半期業務及び会計

監査

第二号議案 その他



しもにた夏祭り



小井土指導課長



下仁田中学校の生徒



一ノ宮小学校の児童

森林・林業に対する理解を深めるため 森林環境教室を開催しました

森林は、木材生産機能から、水源かん養、国土や自然環境の保全、地球温暖化の防止、レクリエーション野庭としての利用等、多面にわたる機能の発揮へと多様化しており、これに 대응していきけるよう、将来にわたって適正に森林整備を行うことが求められています。

しかし、森林の重要性が見直される一方で、森林を管理する林業活動は十分に理解がされていません。

そこで下仁田町森林組合では、「熱帯林の砂漠化」や「地球の温暖化」についての話題を中心に、森林の働き、森林の重要性と、

その森林を管理していく林業活動に対して、

知識と理解を深めてもらうよう、小井土指導

課長が授業の講師として富岡市立一ノ宮小学

校4年生を対象に「森林環境教室」を開催し

ました。また下仁田町下仁田中学校3年生の

「体験学習」では、天然素材としての木材の

特性等を実感してもらうことを期待し、加工

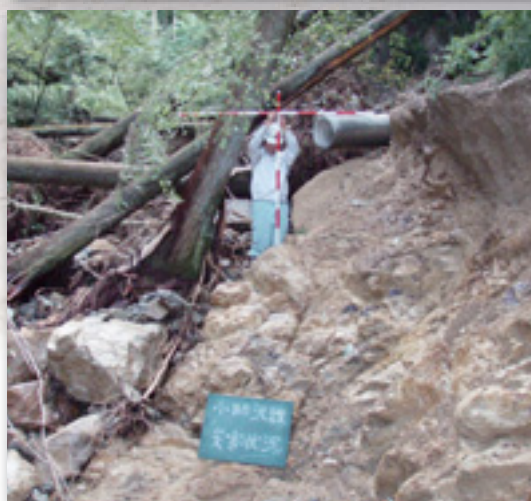
センターにて、地元の間伐材を使用したベン

チ作りを体験しました。森林教室は今回で7

年目となりますが、森林の大切さをみなさん

にPRするため、さまざまなイベントをこれ

からも行っています。



関東全域を襲った台風9号により群馬県下仁田町及び南牧村地区は被災の状況が特に激しいものでした。

下仁田町森林組合は昭和40年より民有林面積12,349ヘクタールの林地を団地化し作業道開設等に取り組み、平成18年度までに465路線232km開設されています。しかし今回の集中的豪雨は今まで例を見ない台風となり、半数以上の作業道が災害に遭いました。そのため平成19年度に進めていた団地化計画は見直しをさせていただき、災害にあった作業道の修理を優先に進めていますが組合で修理が困難な路線については町・県にお願いし、復旧に向けて取り組んでいます。

台風9号によるアメダス累計降水量

9月5日01時～9月7日24時 下仁田 稲含山地点594.5mm

台風9号による大きな被害



第2次森林施業計画と森林整備地域活動支援交付金が スタートしました

新しくなって



作業道開設と間伐実施地

森林施業計画及び森林整備地域活動支援交付金は、森林の多面的機能の発揮の確保を図る観点から、森林施業を集約化する際に必要となる『森林情報の収集活動』や、森林施業の実施に必要な『所有者境界の確認作業』等の地域活動を支援する制度です。

この交付金によって、下仁田町森林組合では森林施業計画の作成と地域活動支援として、路網整備を中心に森林施業の集団化を図り、森林所有者境界の確認作業を行ないながら、皆伐・間伐事業を推進し、高性能林業機械の利用により素材生産を実施させていただきます。



機械による集材作業



機械（プロセッサ）による玉切作業



石渕貯木センター

新たな森林整備地域活動支援交付金制度のポイント

森林施業の集約化の働きかけにつながるよう「森林情報の収集活動」が新たに支援対象となりました。具体的には、

森林施業計画が作成されていない森林において、林業事業者等が森林施業の集約化に必要な「森林情報の収集活動」を行った場合、その実施面積に応じて1ha当たり15,000円が交付されます。

また、既に森林施業計画が作成されている森林において森林施業の実施に必要な地域活動への支援として、森林施業計画の作成主体が「施業実施区域の明確化作業」や「歩道の整備等」を行った場合、一定林齢以下の育成林の面積に応じて1ha当たり5,000円が交付されます。

対象行為

対象行為は、市町村長と交付対象者との間で締結する協定に基づき行われる施業の実施に必要な地域活動です。

地域活動

①施業実施区域の明確化作業



所有界の確認、施業実施区域界の刈り払い、簡易杭やペンキ等による標示、区域の位置・形状・面積を把握するための簡易な測量

②歩道の整備等



施業箇所に至るまでの既設の作業道や歩道の刈り払い、補修、既設歩道間等を連絡する歩道の新設

③その他



施業実施区域の明確化作業や歩道の整備等の結果の取りまとめ、対象行為請負者への通信連絡等

内容

特殊な伐採はお任せ

庭や屋敷周りにある小さな木から、電線などに接触しそうになっている木、寺院、神社の境内などで周りに建物などがあり、簡単に切り倒すことのできない大木を、大型クレーンを用いて高所で行い上から順番に吊るしながら伐採する特殊作業まで、伐採の依頼に応じています。

この樹木伐採地は東京都東大和市の住宅地で、100年位経つ大きなケヤキが屋敷に覆いかぶさり、生活に支障が生じ伐採することになり、25tクレーンでアームいっぱい伸ばし、建物など壊さないように、高所で上から順番に吊るしながら伐採しました。
問い合わせ 指導課まで



(写真右上) 伐採作業前
(写真右下) 伐採完了
(写真左上) 伐採作業中



▲物置



▲大型ベンチ



▲家具



▲木柵

ふるさとの山の木をおう
木材は容易に加工できるため、加工センターでは、間伐材を利用した製品化の開発普及し、付加価値対策とし力を入れていきます。
加工製品は、土木製品（杭類）・木柵・建物（ログハウス、物置）・高速道路用遮音パネル・ベンチ・家具・遊具等を作り販売しています。

加工センター情報

▼市況

第一〇四回（十二月二十日）及び第一〇五回（二月二十二日）に素材の公売入札が行われました。

出荷量は第一〇四回が五一九³m（落札率九二・一％）第一〇五回が四三六³m（落札率九一・四％）でした。間伐材で主となる柱材価格は国有林の搬出量しだいで、上下するが昨年より下がり始め暫く続くと思われる。従って16cm～22cm位までは4mを主に採材し、24cm～30cmについては林令にもよりますが、3・65m材の方が価格において有利です。いずれにしても今後の価格変動は推測しきれない要素も多々あり個人的に搬出される方は是非採材前に森林組合に相談することをお勧めいたします。

市況表			平成19年12月20日	平成20年1月22日
樹種	長さ	径級	平均	平均
すき	3.00	14～16	12,319	11,017
	3.00	18～20	13,291	11,530
	3.00	22上	13,300	11,968
	3.65	16～24	13,610	13,695
	3.65	26上	13,558	13,919
	4.00	20下	10,360	11,763
	4.00	22～28	14,167	12,770
	4.00	30上		13,070
	5.00	30上		
ひのき	6.00	14～16		20,175
	3.00	10～13	13,100	19,880
	4.00	14～16	18,462	8,230
	4.00	18～22	22,270	21,968
	4.00	24～26	23,130	23,575
	4.00	28上		24,190
	4.00			28,800

ホームページ部門

「下仁田町森林組合」奨励賞受賞

全国林業改良普及協会主催

全国林業改良普及協会主催の第四十一回林業関係広報コンクールが行なわれ、これは広報誌部門応募総数四十一、ホームページ部門 応募総数二十七点が全国から応募されました。当組合はホームページ部門に応募し審査員の評価は「きれいに作られたホームページで、林業や森林組合のことがよくわかる」と評価され奨励賞を受賞いたしました。



森林組合人事

退職

職員 金井 公男 従業員 小坂橋 寿 福田 裕司

定年退職

従業員 大河原正美 岩崎 カネ 金井 孝允

採用

職員 萩原 達憲（指導課） 小井戸きさえ（加工センター）

従業員 斉藤 豊治（造林班） 土屋 光（石淵野木場）

三枝 義明（造林班）

お知らせ

広報誌綴り用ファイルが多少ございますのでご希望の方は森林組合総務課（0274-82-2306）までお申込ください。郵送いたします。

2008年2月

発行 下仁田町森林組合

群馬県甘楽郡下仁田町大字下小坂45-7

http://www.snt-shinrin.or.jp

E-mail shimonita@snt-shinrin.or.jp

TEL 0274(82)2306

〒370-2623